



Miyuki Iwamura

岩村みゆき 議員

Q・次期学習指導要領は。教員の多忙化解消の対策は

A・県の多忙化解消プランを受け、検討する

Q 学習指導要領は、小学校が平成32年度、中学校が平成33年度より改定される。どのような改定となるのか。

A 教育次長
5・6年生に英語が正式な教科として新設される。5・6年生は週2時間、3・4年生は週1時間、英語の授業が増設される。

中学校では、選挙年齢が18歳に引き下げられたのを受けて、主権者教育の充実が求められている。

Q 英語の授業が増えるが、体制の強化はどうか。

A 教育次長
原則、担任が指導することから、全ての教師の技量の向上が求められる。愛知県や西春日井地区で研修会が開催される。

また、町教育委員会独自の研修会や、新教材、外部人材の活用などの整備を検討していく。

Q 本町教員の多忙化の実態はどうか。要因と対策は。

A 教育次長
月に80時間の残業時間を超えている教員は、小学校59人中8人、中学校が27人中7人であった。要因として「部活動指導」や「学校・学級事務の多さ」を挙げている。対策は、愛知県教育委員会から3月末に多忙化解消プランが提示される。それを受けて、検討を行う。

Q 今年度と昨年度の町内事故の発生件数は。

A 総務部長
28年は189件、昨年と比較26件の増。物損事故は771件で82件の増であった。

Q 通学路へのカラー塗装の要望があったと思うが、どのように協議をしたのか。

A 教育次長
今年度と昨年度の町内事故の発生件数は。

Q・通学路にカラー塗装を

A・交通量等の状況から出来なかつた

Q 今年度と昨年度の町内事故の発生件数は。

A 総務部長
28年は189件、昨年と比較26件の増。物損事故は771件で82件の増であった。

Q 通学路へのカラー塗装の要望があったと思うが、どのように協議をしたのか。

A 教育次長
今年度と昨年度の町内事故の発生件数は。

A 教育次長
教育委員会事務局と建設課において情報交換は行つたが、当時の通過交通量等の状況を考慮し、工事には至らなかった。



▲どこの通学路もカラー塗装に